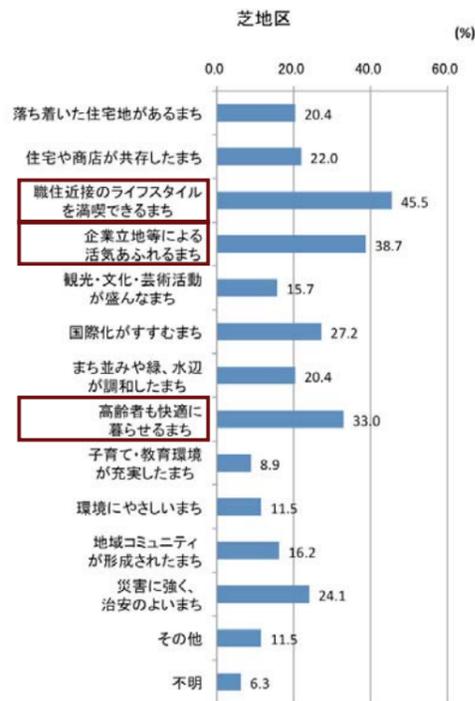


◆◆将来都市像に関する区民アンケートの結果◆◆

現在のまちのイメージ

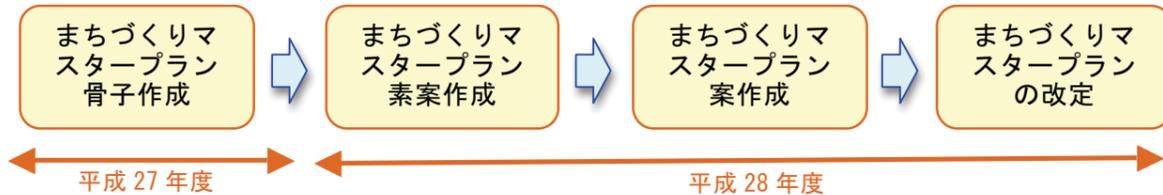


今後のまちのあり方



◆◆まちづくりマスタープランの改定スケジュール◆◆

まちづくりマスタープランは以下のようなスケジュールで改定する予定です。



◆◆次回、第3回意見交換会は以下の日程で開催します◆◆

地区	日時	場所
芝地区	1/14 (木) 18:00~20:00	芝公園区民協働スペース (芝公園保育園内)
麻布地区	12/22 (火) 18:30~20:30	麻布区民協働スペース (麻布保育園内)
赤坂地区	1/12 (火) 18:30~20:30	赤坂区民センター
高輪地区	1/13 (水) 18:30~20:30	高輪区民センター
芝浦港南地区	1/18 (月) 18:30~20:30	芝浦区民協働スペース
台場地区	1/8 (金) 18:30~20:30	台場区民センター

まちづくりマスタープランや意見交換会について感想やご意見などお寄せください！
 また、意見交換会への参加者を引き続き募集していますので、ご希望の方はご連絡下さい。
 港区 街づくり支援部 都市計画課 街づくり計画担当
 TEL 03 (3578) 2235、FAX 03 (3578) 2239
 〒105-8511 東京都港区芝公園 1-5-25 (港区役所本庁舎 6 階)

港区まちづくりマスタープラン
意見交換会ニュース

芝地区
No.2
2015.11.5

芝地区での第2回意見交換会を開催しました

平成 27 年 11 月 5 日 (木) の 18 時 00 分から芝公園区民協働スペースで、港区まちづくりマスタープランについての芝地区での第2回意見交換会を開催しました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

第1回意見交換会では、地区の魅力と課題についてご意見をいただきましたが、第2回意見交換会では、「港区を取り巻く状況の変化」や「将来都市像」について、スライドで紹介した後、2つのグループに分かれて「港区は今後どのようなまちになっていくといいか」について意見交換しました。

出された意見を模造紙にまとめ、グループごとに発表してもらいました。意見の詳細は裏面をご覧ください。

グループでの話し合いは1時間程度でしたが、意見やアイデアを出し合って、活気ある話し合いになりました。また、グループごとに要点をまとめて発表していただき、時間通りに終了することができました。

第3回意見交換会では、「地区の課題や問題を解決するためにどのような取組を行えばいいか」についてご意見をいただく予定です。



まちづくりマスタープランとは

- おおむね 20 年後を目標とするまちの将来像やまちの基本的な方針などを示すものです。
- 区全体のまちの将来像と地区別の特性に応じたまちづくりの方針で構成されています。
- 都市計画や建築、交通などのハード面に限らずバリアフリー、子育て、緑、環境、防災、防犯などのソフト面を含めた計画です。

意見交換会とは

- 地区ごとに開催し、区民の皆さんからきめ細かな地域の情報や実情などを伺い、その地区の課題や計画内容について話し合う会です。
- 各地区 3 回程度開催する予定で、2 回は既に開催しました。3 回めの予定は最後のページに紹介しています。

様々なまちの将来都市像が出されました

※意見交換会の内容を要約・整理して掲載しています。

グループ①



【将来都市像】

歴史と風格の中に住もう
ゆりかごから墓場まで住み続けられるまち

東京の政治・文化の中心

- ・東京の中心。政治、文化、TV局、青山のファッション等。

中心となる施設

- ・ランドマークを創り出す必要がある。
- ・中心となる施設を作る。
- ・集まる場所をつくり、何かの中心地にしないでほしい。

外国人も暮らしやすいまち

- ・国際ビジネス拠点をつくれば外国人居住者が増える。外国人が生活するための施設、クリニック、物販が必要で、地元の人たちが対応できるための支援制度が求められる。
- ・国際化への具体的な対応が必要である。

高齢者にとっても 住みつづけられるまち

- ・高齢者の施設を増やしてほしい。

裏道・雑多な魅力のあるまち

- ・裏道や雑多空間があり、それも魅力として残していきたい。

貧しくても住めるまち

- ・港区は物価が高い。
- ・教育、生活において、貧富の差がみられるので、なくしていく。

歴史の再評価

- ・歴史的な宝である建物、史跡、大使館がある。
- ・江戸は400年以上の歴史を持っている。
- ・便利なところだからどんどん新しいものができ、古いものが失われる。
- ・歴史の再評価を行う必要がある。そのための施設が必要。
- ・歴史の跡にシンボルとなる建物を残す。

徒歩圏で暮らせるまち

- ・生活、憩い、買い物、レジャー、仕事、観光が徒歩圏内に全てあるまちがよい。

ストレスのたまらないまち

- ・景観（建築物）、人間関係（町会・自治会）などにおいて、ストレスのたまらない街づくりが必要。

【参考】検討委員会での将来都市像やまちの姿についてのご意見

- 「住み続けられるまち」では、港区の特徴である“職住近接”についても加えてはどうか。
- 「个性的で多様なまち」では、地区の多様性だけでなく、港区の特徴である人々の“多様性”を活かしていくことも加えてはどうか。
- 「安全・安心なまち」では、交通安全についても加えてほしい。犯罪より交通事故は多い。
- 「世界に開かれたまち」という視点を加えた方がよい。大使館や国際企業、ホテル等、日本の国際化における港区の重要性がわかる資料がほしい。

グループ②



【将来都市像】

みんながわくわくするまち

国際的なまち／世界の港区

- ・東京の港区ではなく、日本の港区、世界の港区
- ・国際化を推進（国際化が遅れていると思う。）
- ・多様な人種が共存している。

表情豊かな、多様で美しいまち

- ・人間も建物も、多様性を認め合うまちでいてほしい。
- ・新しいまちと古いまちが共存するまち
- ・美的景観の整ったまち
- ・東京タワーは残して欲しい。

人口と交通のバランスが とれた程よいまち

- ・人口は増えても、交通の受け皿が無ければ結局暮らしにくくなる。
- ・人口ラッシュのない過ごしやすいまち
- ・職住近接も一つの考え方である。
- ・ワンルームマンションはいらない。

今と変わらない商業のまち

- ・新橋駅周辺の居酒屋街は、今と変わらないでほしい。
- ・ごちゃごちゃ感が良い。
- ・新橋の飲み屋街は、大切な新橋の資産である。
- ・悪質なぼったくりバーは徹底的に摘発をして、安心して飲める居酒屋街にしていけば良いと思う。
- ・まちづくりマスタープランでは、「業務、商業」という視点が抜けているのではないか。

安全・安心 災害に強いまち

- ・地震に強いまちを作してほしい。
- ・特に、新橋駅周辺は、災害に強く、エネルギーの基地になってほしい。
- ・制震・免震を取り入れたビルは安全である。街並みをビルに集約化してほしい。
- ・集中豪雨などの水害に強いまち
- ・壊れない街（地震）が一番。建物を長く使って、建替をしなくて良いビルを造る。

緑豊かなまち

- ・都市の中に、緑などの豊かな自然があるまち

バリアフリーが充実したまち

- ・特に、新橋駅、浜松町駅のバリアフリーを充実させて欲しい。

交通利便の高いまち

- ・BRTに期待したい。